

感染症情報

4月13日～19日(第16週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		しばらくありません
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		しばらくありません
⑥	溶連菌感染症	★★★	↓	減少傾向です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★★	↓	減少傾向です
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★		まれにみられます
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★★		まれにみられます
⑰	インフルエンザ	★★★	↓↓	減少傾向です
⑱	新型コロナウイルス感染	★		
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★★	→	
⑳	その他のかぜ症候群	★★★	↓	減少傾向です

流行していた「インフルエンザB型」は3月末頃から減少傾向になり、かなり少なくなっています。今後は終息に向かうと思われませんが、もう少しは注意が必要です。
「溶連菌感染症」は減少傾向ですがまだ小流行中です。
「ヒトメタニューモウイルス感染症」が3月末頃から増加傾向にありましたが、それほど多くはなく一部の園等で小流行中です。
他には「RSウイルス感染症」「アデノウイルス感染症」もまれにみられています。
全体的に感染症は少なくなっています。今後は「手足口病」「ヘルパンギーナ」などの「夏かぜ症候群」の増加が予想されます。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある